

2012年 祇園祭 宵山

鉾町を巡る 2012.7.16.夕





四条河原町で



四條西洞院周辺 郭巨山・月鉾 遠く奥に長刀鉾が見える 2012.7.16.夕

祇園祭の楽しみ方

祇園囃子

鉦の上で囃される“コンチキチン”の祇園囃子は、鉦により一部共通するものの囃子方は鉦によって異なり、曲目は各鉦でそれぞれ約30曲あるといわれています。楽器は鉦、太鼓、笛の3種類で、鉦方は少年期から稽古をはじめ、成人に達して太鼓方や笛方になるのが普通です。囃子方の熱のこもった迫力ある演奏は、祭りの粋と情緒を高める大切な要素です。

屏風祭

宵山の期間中には、山鉦町内の旧家や老舗が屏風や掛け軸など秘蔵の美術品を飾り、祭り見物の人々に公開します。いにしへの都を感じながらのそぞろ歩きは祇園祭の楽しみのひとつです。

護符

各山鉦の御神体にまつわる「お守り札」のことで、7月14日から3日間だけ各山鉦の周りで売り出されます。山鉦によって護符の持つ意味やご利益はちがいます。

山の構造

重量:0.5~1トン
昇手:14人~24人



粽

祇園祭の「ちまき」は食べるものではなく、目に入りやすい門口などに吊るして翌年の祇園祭に新しい「ちまき」と取り替えるまで疫病災難除けとして飾っておきます。昔、素盞鳴命が旅中に貧しい蘇民将来すみんしやうらいの家に一晚の宿とあたたかいもてなしを受けました。そのお礼に、蘇民将来の子孫には疫病の厄を免れさせる約束し、目印として茅の輪を腰に付けさせたのが、粽のおこりとされています。



鉦頭

天王台

真木

櫛

網隠

屋根方

天水引

囃子方

胴懸

裾幕

車輪

重量:7~9トン(巡行時約8.5~12トン)

高さ:地上から鉦頭迄約25m

地上から屋根迄約8m

車輪:直径2m前後

鉦屋根:長さ4.5m・巾約3.5m

石持:長さ約6m余

鉦床面積:4畳半~6畳

曳子:鉦の巡行に当たり綱を曳く役30人~50人

音頭取:お囃子と車の操作の上に立つ指揮者2人
(辻を曲がる時のみ4人)

屋根方:電線等の障害を調整する役4人

破風

稚児

下水引

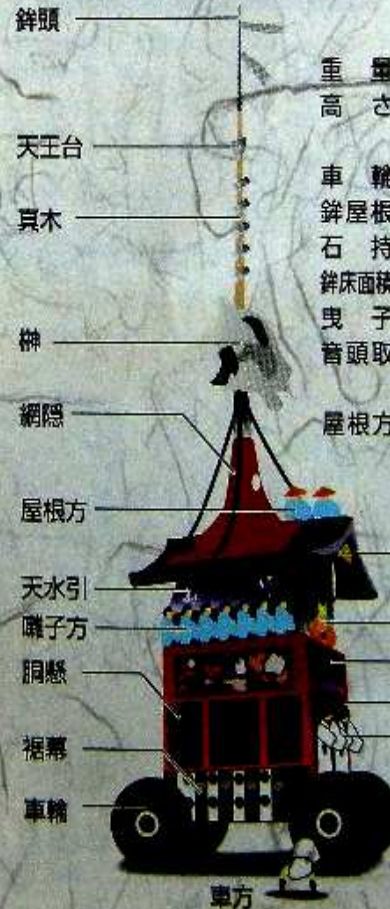
前懸

音頭取

曳手

車方

鉦の構造





祇園祭の宵山 2012.7.16.夕

宵山では銚町の商家の玄関に飾られる豪華な屏風
や衣装などその家の家宝を眺めて廻るのも楽しみ





宵山の銚町の会所には 御神体や
巡行時 動く芸術品 山銚を飾りつ
ける噴れの装飾品が飾られる

前懸・胴掛け・見送り・水引など

重文を含め、いずれも伝統工芸を凝らした
芸術品である

太子山会所に飾られ
た太子山の装飾品





**山鉦建ての位置
山鉦巡行コース**

7月17日(火)
山鉦巡行コース
○数字は巡行順

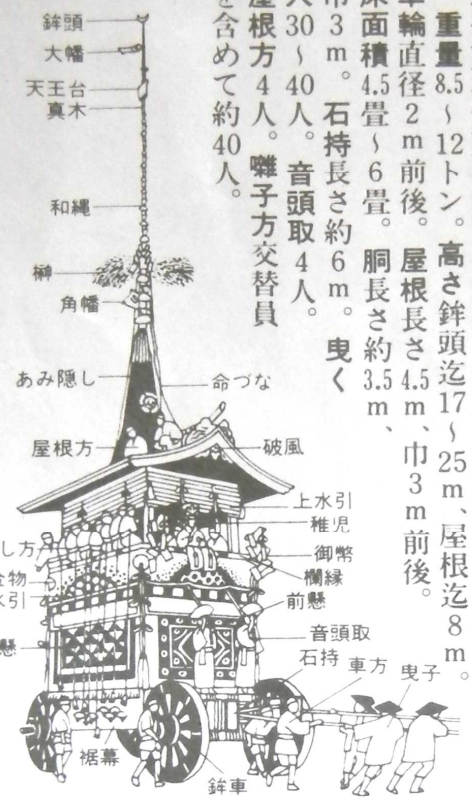
**歩行者左側通行・
一方通行のお知らせ**

宵山期間中[7/14(土)~16(月)]
■長刀鉦周辺の四条通：左側通行
■室町通・新町通等：一方通行
詳しくは、中面をご覧ください。

鉦と山の解説

鉦の構造

重量 8.5 ~ 12 トン。高さ鉦頭迄 17 ~ 25 m、屋根迄 8 m。
車輪直径 2 m 前後。床面積 4.5 畳。石持長さ約 6 m。胴長さ約 3.5 m、巾 3 m。
音頭取 4 人。囃子方交替員 4 人。屋根方 4 人。を含めて約 40 人。



山の構造

飾り金具、人形の
大きさが多少異なる
重量 0.5 ~ 1.0 トン
昇り手 14 人 ~ 24 人





四条西洞院周辺 郭巨山・月鉾 遠く奥に長刀鉾が見える 2012.7.16.夕



油小路 油天神山



油小路 油天神山



油小路 油天神山



油小路 油天神山



油小路 太子山会所前



油小路 太子山



宵山の銚町の会所には 御神体や
巡行時 動く芸術品 山銚を飾りつ
ける噴れの装飾品が飾られる

前懸・胴掛け・見送り・水引など

重文を含め、いずれも伝統工芸を凝らした
芸術品である

太子山会所に飾られ
た太子山の装飾品





油小路 太子山会所前



西洞院通 螻螂山



西洞院通 螻螂山



西洞院通 螻螂山





西洞院通 螻螂山



西洞院通と錦小路通の角 露天神山



新町通 放下鉾





新町通 南観音山



新町通 南観音山



室町通 菊水鉾



室町通 山伏山 奥 菊水銚



室町通 山伏山



室町通 山伏山町家(会所)前



室町通 鯉山

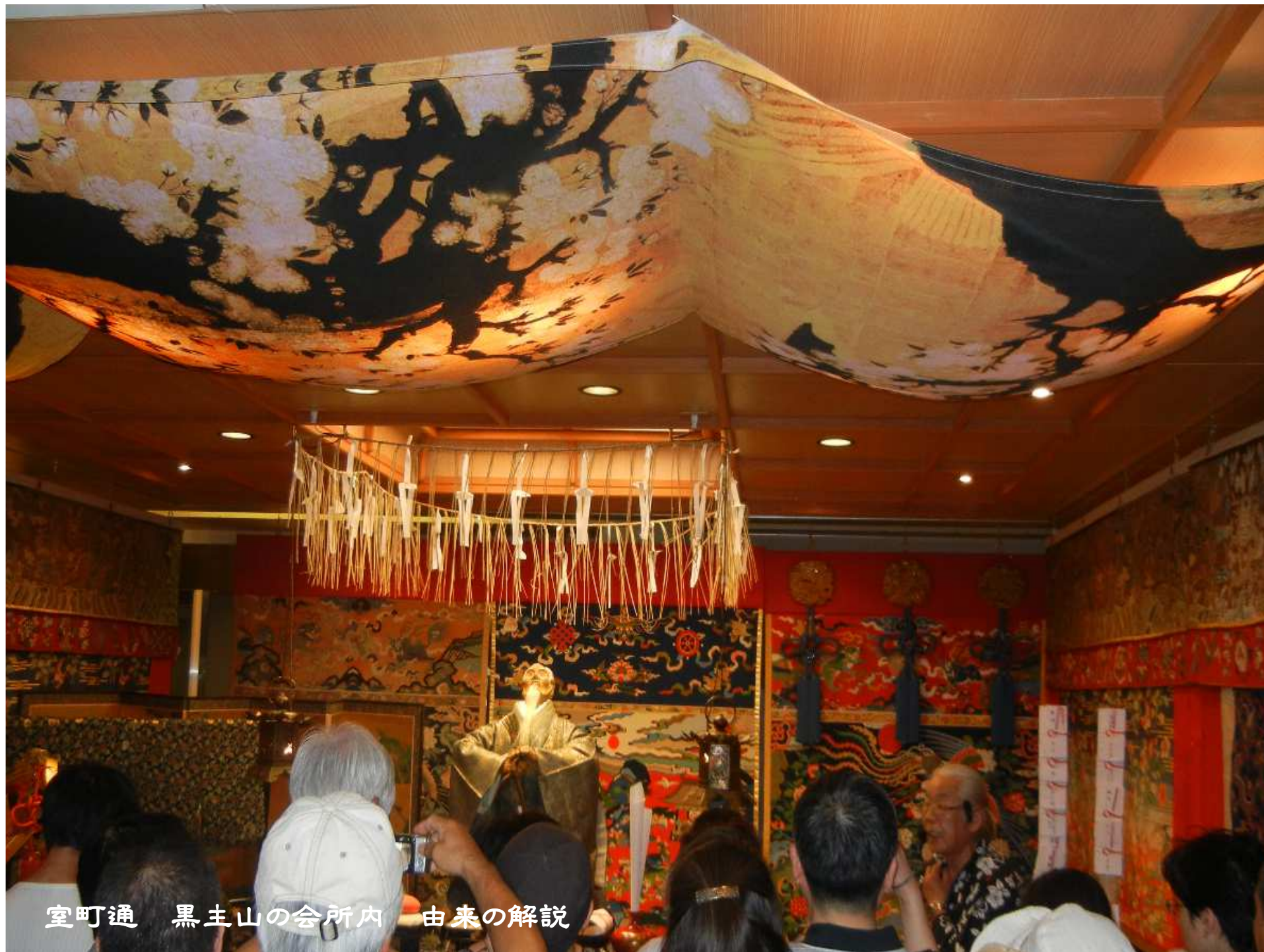


室町通 鯉山から黒主山へ



室町通 黒主山





室町通 黒主山の会所内 由来の解説



室町通 黄金の鯉が3匹いるという



黄昏の鴨川 川床で大勢の人が楽しんでいる



歩行者天国になった四条通 祇園石段下



歩行者天国になった四条通 祇園石段下



素戔嗚尊を祭神とする祇園八坂神社 石見神楽が奉納されていた
一度直に見たい石見神楽「大蛇」も奉納されるのですが、一番最後 今日断念する









四谷河原町



四条通 長刀鉾









四糸烏丸 函谷鉾



西谷鉾

御神燈

西谷鉾

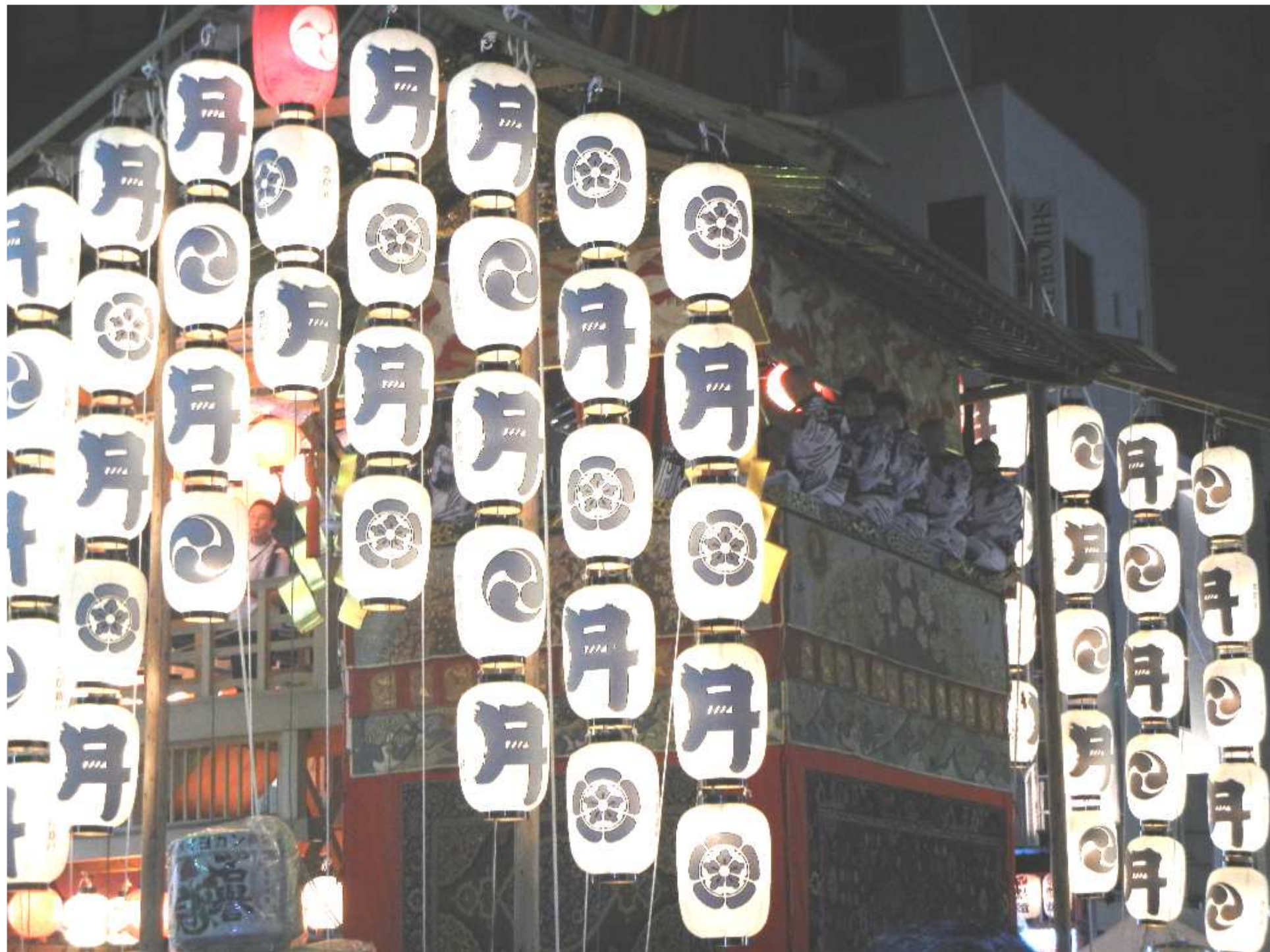
月桂冠

月桂冠

月桂冠

月桂冠

御神燈









3
ヤサカ助 舞臺 鶏 七 郎

巡行の朝 6時半 巡行の朝の鉾町を訪ねる



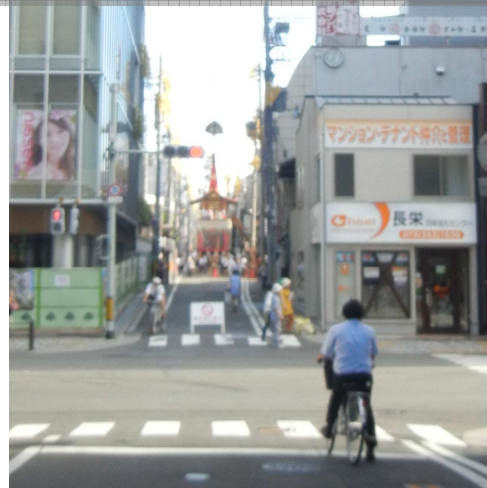
四条烏丸 月鉾前 昨夜の喧騒がうそのよう 2012.7.17.早朝



巡行の朝 6時半

陽がのぼりはじめると 各鉾町で、山鉾の飾り付けがあわただしく始まる。

提灯がはずされた山鉾に 晴れの巡行のため 会所に祭られていた御神体や数々の装飾品が飾ら率けられる。





新町通 船鉾でも 巡行の準備が始まった



人気の菊水鉾も巡行の準備が始まった
天空に輝く黄金の菊花から車輪まで
全体がすぐそばで見られました











新町通 放下鉾





新町通 南観音山



山伏山の巡行 飾りつけ



室町通 山伏山では 宵山の飾りつけがすべてはずされ、
いよいよ巡行の晴れの飾りつけが始まった









見送りを飾る



御神体を山に乗せる

山伏山町家



















準備のできた菊水鉾が巡行集合場所の四糸烏丸へ鉾町を出てゆく







室町通 菊水鉾の後ろ側







菊きく
水すい
鉾ほこ

猪田商店
御流宗匠兵衛御

銀泉
嘉久衣駐車場

Healing Salon
Opio 4F
マルコ
株式会社 3F
SOWA
株式会社 2F
BOCCA
VINO 1F

エホーパークینگ

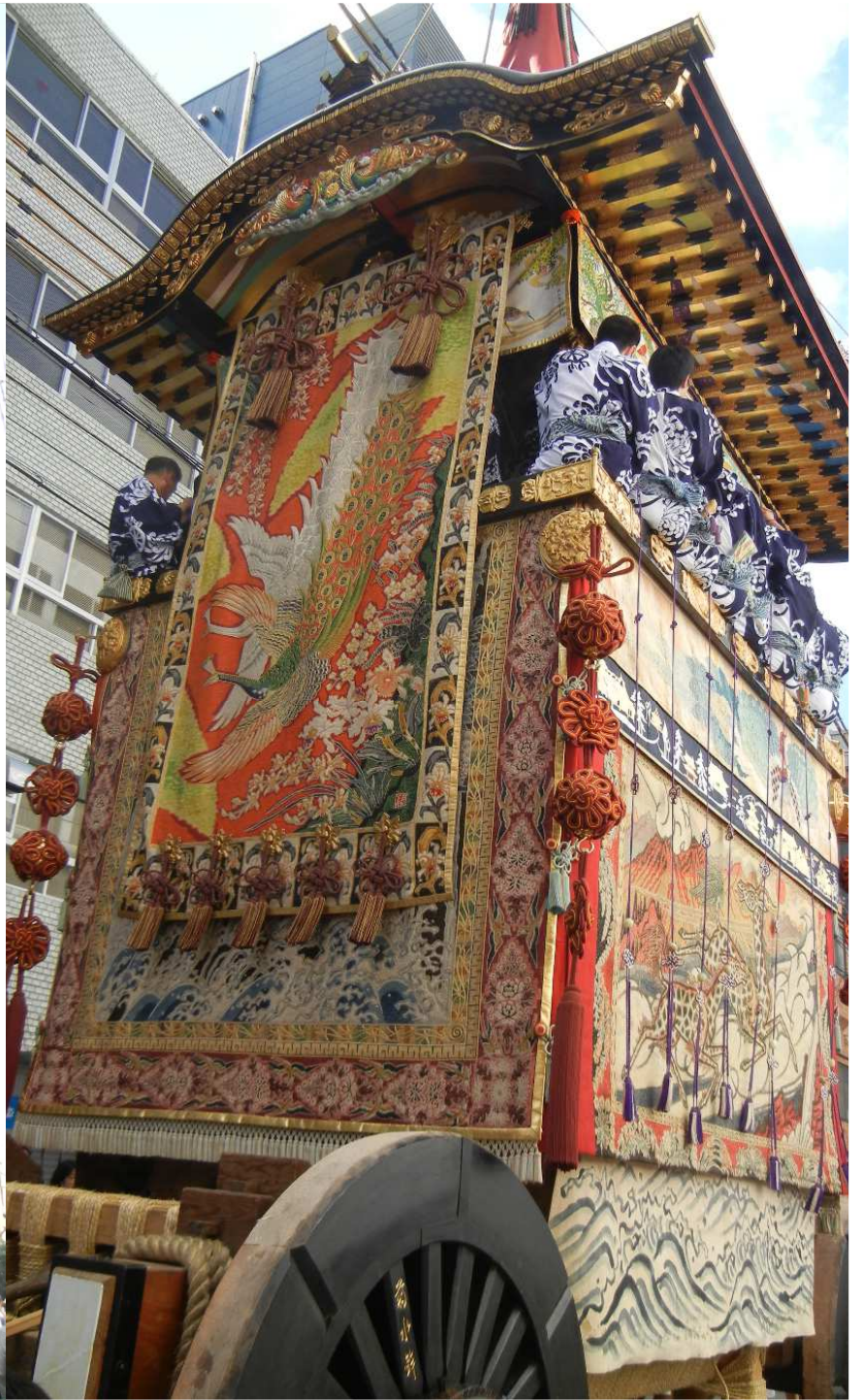
P

三洋



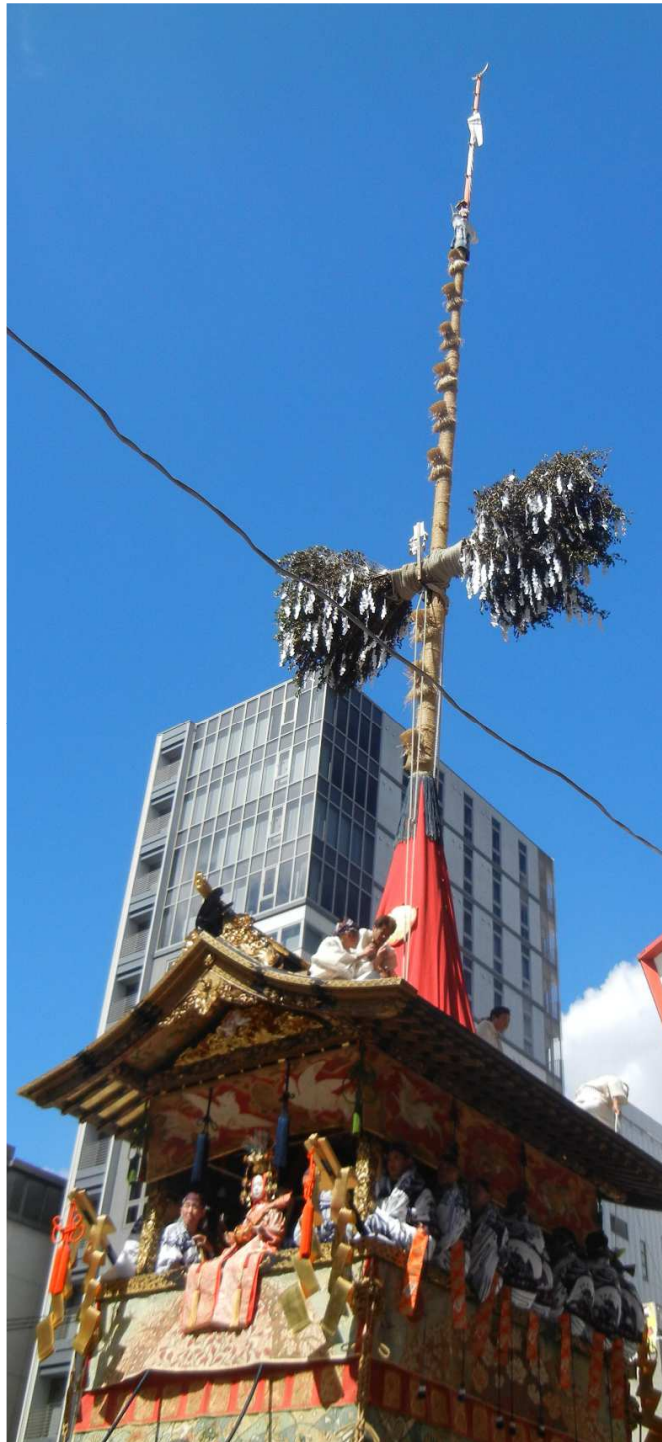




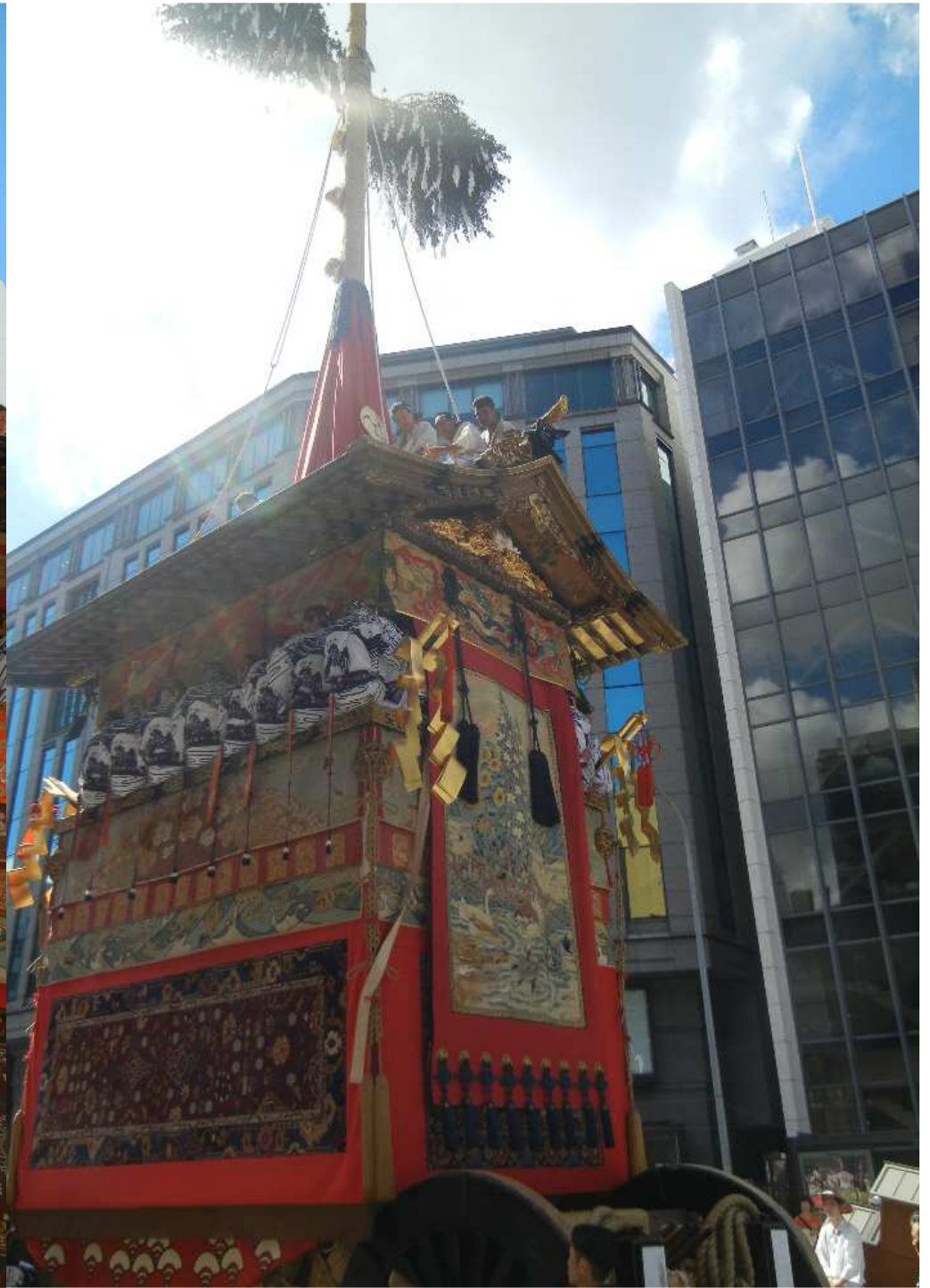


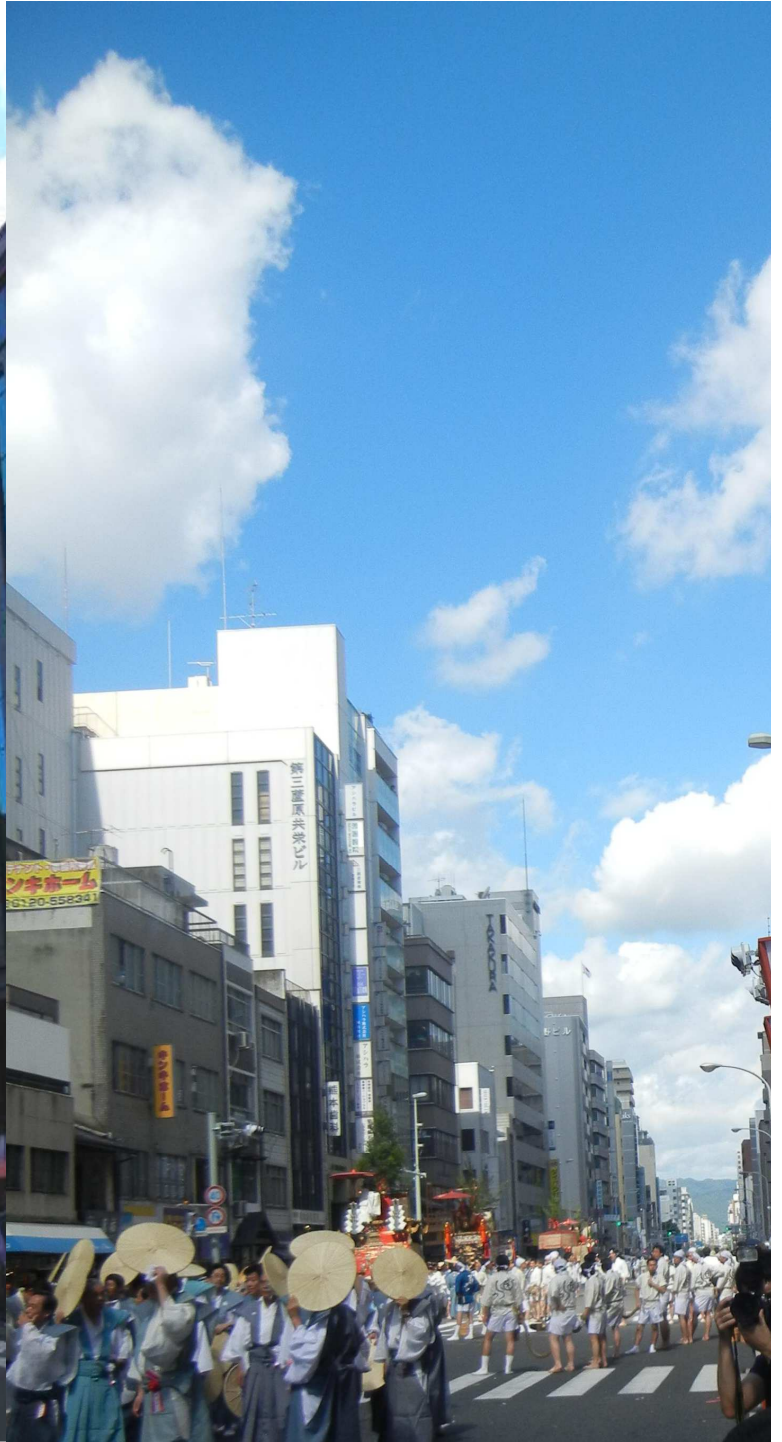


四条通の角で巡行の順番を待つ



四糸鳥丸 月鉾







太子山



伯牙山と木賊山





菊水鉾が四条通に出てきた

四条通に出てくる菊水鉾の後ろで辻回しをする放下鉾





四条通に出てくる菊水鉾の後ろで辻回しをする放下鉾

四条通 菊水鉢の辻回し













室町通から出てきた鶏銚



鶏鉾の辻回し



鶏鉾の辻回し



鶏鉾の辻回し



四糸烏丸の交差点を行く菊水鉾





北の烏丸通から四糸烏丸に入る山伏山



蛸薬師通を烏丸まで出てきた橋弁慶山



山慶橋で出てきた丸馬を連薬師を



次々と銚町を出て 巡行に加わってゆく山鉾を眺めながら
巡行の朝 銚町Walkを終わりました

宵山や巡行では見られぬ山鉾の姿を見られました



